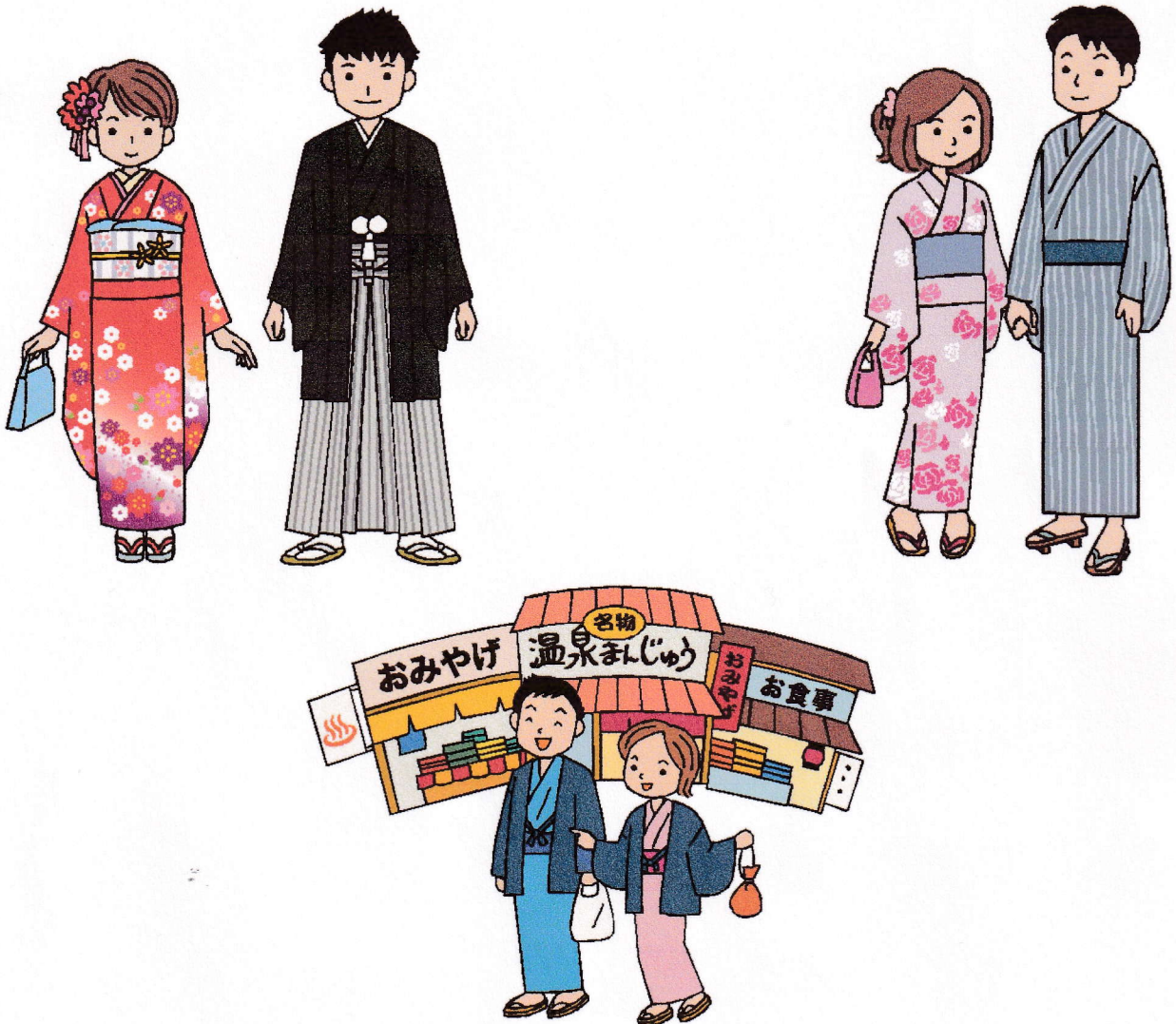


「きもの」

いま にほんじん ようふく き むかし わふく き きもの
今は、日本人も 洋服を着ていますが、昔 は 和服を 着ていました。「着物」は
き もの いみ わふく ようふく きもの いま
着る物という意味で、和服も洋服も「着物」です。しかし、今は、「きもの」といったら
わふく
和服のことです。

「きもの」には、いろいろな種類しゅるいがあります。「きもの(着物)」と「ゆかた(浴衣)」がよく
し
知られています。「ゆかた」は、夏用なつようの和服で、「きもの」よりカジュアルです。夏祭り
はなびたいかい い き おんせんりょかん ようい ね ま
や花火大会などに行くときに着ます。温泉旅館で用意されている寝巻きも、「ゆか
た」と呼ばれます。簡単かんたんに着ることができますから、旅館に泊りょかんしたら、ぜひ着てみ
てください。



ゆかたを^き着てみましょう

☆ はじめに、^{じゅんぴ}準備をします。

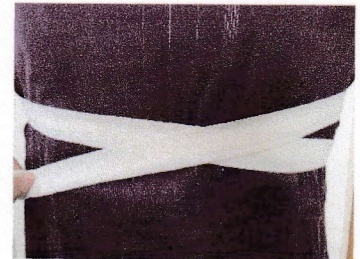
^{ひつよう}必要なもの： ゆかた、^{おび}帯、^{こし}腰ひも ^{にほん}2本



^{むす}ひもの結び方

1. ひもの^{ちゅうおう}中央を^{まえ}前にあてます。
2. ^{うし}後ろへ^{まわ}回して^{こうさ}交差させます。
3. ^{さゆう}左右に^ひ引き、^{まえ}前にもどします。
4. ^{むす}結んだところが ゆるまないように ^{むす}結びます。
5. ^{した}下になっている ひもで、^{わ つく}輪を作ります。
6. ^{かたほう}もう片方を^{うえ}上から かぶせます。
7. ^{さゆう}左右にひいて、しっかり しめます。

2



4



5



6



7



☆つぎに、ゆかたを^き着ます。

ゆかたの^{きかた}着方^{じょせい}（女性）

1. ゆかたを はおります。



2. はじめに、すそを ^{なが}くるぶしくらいの長さに します。



3. つぎに、^{ひだりがわ}左側を^ま巻きつけながら、^きはばを決めます。



4. 一度^{いちど}左側を開いて、^{ひら}右側を^{みぎがわ}巻きつけてから、^ま

^{かさ}もう一度、左側を重ねます。



5. ^{こし}腰ひもを しめます。

^{まえ}前から^あ当てて、^{うし}後ろで^{こうさ}交差させてから、^{まえ}前で^{むす}結びます。



6. ^{まえ}前や^{うし}後ろの ^のしわを伸ばして、おはし^{ととの}よりを整えます。



7. ^{うえ}ウエストあたりに ^すひもをしめます。



* ^{くび}首の^{うし}後ろに えりをつけないようにします。



☆さいごに、^{おび}帯を しめます。（※写真^{しゃしん}は後ろ^{うし}ですが、^{まえ}前で^{むす}結びます）

^{はん}半^{おび}はば^{かた}帯の しめ方

1. ^{おび}帯の^{なが}長さを^{ごじゅっせんち}50センチくらいとって、

^{ふた}二つ折りにして^{まえ}前に^あ当てます。



2. はばを^{ひろ}広げて、^{うえすと}ウエストに^{かいま}2回巻きます。



3. ^{おび}帯を^{まえちゅうおう}前中央で^おななめに折ります。



4. ^{ふた}二つ折りになっている^{おび}帯を、^{うえ}上からかぶせるようにして、
^{した}下から^{うえ}上に^ひ引き上げ ^{うえ}しっかり^{むす}結びます



5. リボン^{つく}を作ります。

^{した}下の^{おび}帯のはばを^{ひろ}広げ、^{かた}肩はば^{なが}くらいの^{なが}長さにたたみます。



6. ^{ちゅうおう}中央に^{つく}ひだ(W)を作り、
^{むす}結んだところに^ののせます。



7. ふた お おび ちゅうおう
二つ折りにしてある帯で、リボンの中央を
かいま
1回巻きます。



8. のこ 残り を たたんで、ま おび あいだ い
巻いた帯の間に入れます。



9. かたち ととの
リボンの形を整えます。



10. おび みぎ うし まわ
帯を右から後ろへ回します。

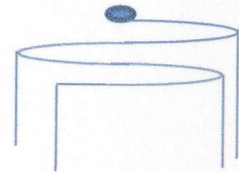
できあがり！

たたみ方

すのこたたみ



びょうぶたたみ



バリエーション

① リボンが みじか 短 かったら、した む
からだ
体 につける。



② びょうぶたたみにして、リボンを4枚にする。

